

12.2 今後の通商政策や税関行政を学ぶ

国際ビジネス委員会 講演会



国際ビジネス委員会は、神戸税関長の佐藤正之氏を講師に迎え、「グローバルな通商枠組みの今後の行方」をテーマに、世界中で発効が進むEPA・FTAやRCEPなどメガFTAへの取れんの動きについて講演を聞いた。

また、オンライン配信で、財務省関税局税関調査室長の鈴木文浩氏より、税関検査のオートメーション化やAI技術を取り入れた業務高度化への取り組みなど税関行政の中長期ビジョン「スマート税関構想2020」について話を聞いた。

産業部産業・国際チーム

12.4 AI活用の考え方を理解し、事例を学ぶ

日本社会はAIで変わる



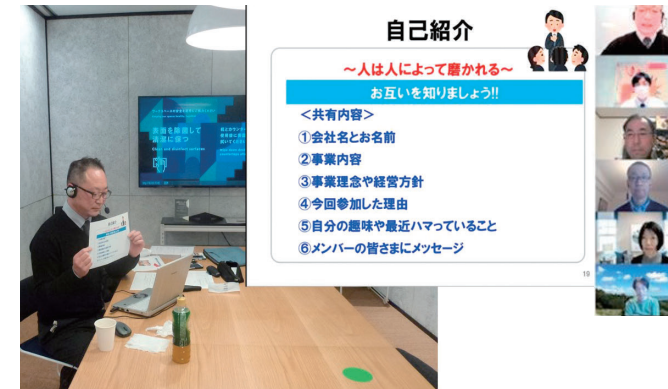
当商工会議所が事務局を務める(国研)産業技術総合研究所人工知能技術コンソーシアム(AITeC)神戸支部ワーキンググループは、人工知能研究の第一人者である、札幌市立大学学長の中島秀之氏を講師に迎え、講演会を開催した。

中島氏は、AIの基礎知識や可能性に加えて、公共サービスなどでの具体的な活用事例を紹介。「AIはあくまで便利な道具。使い方と最終判断は人間が行うものと理解し、ビジネスでどう活用するかを考えることが重要」と強調した。

産業部産業・国際チーム

12.11 コロナ禍での新たなチャレンジを語り合う

オンライン会員交流会



新型コロナの影響により、リアル対面型で大人数が集まる交流会の開催が難しい中、会員相互の新たなビジネス交流の場を提供するため、オンラインによる会員交流会を初めて開催した。

交流会では、中小企業診断士の小川雅弘氏がファシリテーターを務め、参加者の自己紹介から開始。その後、コロナ禍における新たなビジネス展開や会社経営・営業活動の課題に加えて、趣味やストレス発散方法など様々なテーマについて活発な情報交換が行われた。

会員事業部会員チーム

12.21 HACCP導入について学ぶ

衛生管理の見える化を考える



食品を扱う全事業者に対してHACCP(食品衛生管理の国際基準)に基づいた衛生管理の導入が2020年6月に制度化された。本年6月の完全義務化に向けて、具体的な導入手順を学ぶためコレクト・レーベル代表の藤原和樹氏を講師に迎え、オンラインセミナーを開催した。

藤原氏は、「①リスクを発見し、基本的な衛生管理を徹底すること、②確実に実行できる衛生管理計画を立てること、③日々のチェック・定期的なチェックの実行と見直し、従業員への定期的な教育を行うことが望ましい」と強調した。

中小企業振興部振興チーム

12.8 飲食店の製造小売への道

KCCI創業塾 実践セミナー2020



味噌だれ餃子発祥の店「元祖ぎょうざ苑」代表の頃末灯留氏を講師に迎え、デジタルを活用した業態転換についてセミナーを開催した。

同社は、2007年に神戸セレクションに選定されたことを契機に、ウェブサイトはもちろんパソコンも無い状態から冷凍餃子の通信販売に挑戦。商品の品質改良を重ねるとともにSNSによる情報発信により、店舗売上で500万円程度しかなかった年商を1億円超にまで伸ばした成功事例について、苦労談や経営戦略を交えて紹介した。

経営支援センター

12.10 コロナ禍での会員企業の海外ビジネス展開を支援

ベトナム企業とのオンラインビジネス交流会



国際ビジネス委員会は、コロナ禍での会員企業の海外ビジネス展開を支援するため、ベトナム企業との交流会をオンラインで開催した。当日は会員企業8社とベトナム企業15社が参加。自社事業や求めるビジネスパートナーについてプレゼンし、意見交換した。

交流会終了後、関心のあるベトナム企業との個別ミーティングを計19件実施し、ビジネス連携に向けた具体的な商談が行われた。

参加企業からは「ベトナムでのビジネスに役立つ情報が多数あった」との声が聞かれた。

産業部産業・国際チーム

1.4 ニューノーマルをチャンスに変える

神戸商工会議所 新春記者会見



当商工会議所は、新春記者会見を開催し、正副会頭からコロナ禍で迎えた2021年に重視する取り組みや抱負を述べた。

家次会頭は、「感染防止と経済活動の両立を図ることが引き続き重要」と改めて強調し、その上で、「会員企業の事業継続・雇用維持、デジタル活用や業態転換を全力でサポートするとともに、神戸の都市開発を加速させたい」と意気込みを語った。また、「世の中の潮目の変化を神戸の企業や街のチャンスに変えていきたい」と述べた。

総務部企画広報チーム

1.4 新年の幕開けに決意表明

令和3年新年のつどい



当商工会議所、兵庫県、神戸市はじめ20団体の主催による新年のつどいを、新型コロナの感染対策を講じた上で開催し、地元政財官の関係者約700名が参加した。

井戸知事、久元市長が新年の挨拶として、コロナ対策の徹底強化と今後の県土づくり・市街地再整備の重要性について述べた後、家次会頭は「ニューノーマルをチャンスに変え、ポストコロナ社会で一段の高みを目指したい」と新年の決意を表明。参加者は大きな拍手をもって、賛意を示した。

総務部総務チーム